

# 示現会会報

一般社団法人 示現会

## 会員総会関連

### 2022年度 一般社団法人 示現会定時会員総会報告

日時 2022年3月8日（火曜日）10時

場所 東京都北区中里一丁目17番4号 当法人会館

総会成立の確認

この時点での正会員数は、392名、出席正会員数は、9名（紙上総会のため理事長と事務局員のみ）、議決権行使書面による出席者262名、その総数は271名で定款の定めるところの総正会員等の議決権を有する正会員が出席し、更に議決権行使書面をも含めましてその定数に達しており総会が成立している旨を確認しました。

### 会議の目的事項

#### 報告事項

2021年度（自2021年1月1日至2021年12月31日）事業報告の件

### 事業報告概要

2021年度、コロナ禍において示現会はどのような事業をやってきたか報告いたします。

73回展（2020年）の全面中止、そして、本年74回展は、未だコロナ禍にもかかわらず開催の是非を慎重に検討した結果、実施内容のひとつひとつ課題を洗い出し結果として「蜜」を避けられない事業（出品者懇親会、打上、写生会、夏季講習等）は中止としつつも徹底した感染症防止策の実施により展覧会の開催に漕ぎつけることができました。それは示現会の関係者等を含めコロナ感染者を絶対出さないという強い信念からでした。

しかし一方では実施できなかった事業の影響と高齢化から、会員の会離れが一番の悩みでした。いかに絵を描くモチベーションの低下を克服してもらうか、会への関心を持続し仲間としての居場所づくりが難しくなるのではとの懸念が一番の心配でした。

そうした中で、会の現状、コロナ禍における仲間の工夫した活動状況をできるだけ多く発信する「事務局だより」の継続的発行を行いました。

また、作品研究会は会館での密状態を避けた写真によるリモート作品研究会を実施しました。

そして2年ぶり、コロナ禍ではありましたが、精魂を込めた作品群の展示をすることができ予想を上まわると観覧者数を得られ従前にも増して結束感、絆が築けた年でした。

#### ■会員数

	2021.1.31時点	74回展 昇格者	2022.1.31現在
正会員	360	59	393
準会員	173	58	156
会友	135	50	117
計	668		666

### 1. 展覧会の開催状況〔(事業) 定款第4条〕

#### (1) 展覧会（第74回示現会展）

2021年3月31日～4月12日 於 国立新美術館

- ・示現会展授賞式3月31日。授賞者35名。
- ・入場者数 8,767名（コロナ禍のため従前の半減）
- ・ポスター類の配付先：正会員・準会員・会友の他、美術大学、美術専門学校、全国画材店及び画廊他
- ・広報：ホームページ・リーフレット発行・各種美術誌・美術新聞等に展覧会開催広告、公募要領掲載
- ・授賞者・入選者等名簿をホームページ掲載及び報道関係に通知送付
- ・搬入、陳列状況

総搬入数 801点。入選者数 180点（初入選 87点）

#### (2) 第74回示現会巡回展（同期間 ※印＝公募展、交流展含む）

- ※4月21日～4月24日 兵庫展（於 兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー）  
陳列点数 144点 入場者数 543名  
応募者数 24名 応募点数 24点
- 5月11日～5月16日 福岡展（於 福岡市美術館）  
陳列点数 105点 入場者数 1050名
- ※5月18日～5月23日 熊本展（於 熊本県立美術館分館・ギャラリー）  
陳列点数 84点 入場者数 1,041名
- 5月25日～5月30日 北九州展（於 北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー）  
新型コロナ禍で美術館休館のため中止
- ※6月2日～6月7日 和歌山展（於 和歌山県民文化会館県民ギャラリー）  
陳列点数 84点 入場者数 800名
- 6月11日～6月15日 徳島展（於 あわぎんホール 徳島県郷土文化会館）  
陳列点数 84点 入場者数 1010名
- ※6月30日～7月4日 山形展（於 山形美術館）  
陳列点数 96点 入場者数 800名  
応募者数 4名 応募点数 4点
- 7月13日～7月18日 名古屋展（於 愛知県美術館）  
陳列点数 95点 入場者数 2,158名
- ※7月28日～8月1日 青森展（於 青森市民美術展示館）  
陳列点数 70点 入場者数 476名
- ※8月31日～9月5日 京都展（於 京都市京セラ美術館）  
陳列点数 100点 入場者数 879名  
応募者数 11名 応募点数 14点
- 10月10日～10月16日 長岡展（於 長岡市美術センター）  
陳列点数 69点 入場者数 946名
- ※11月9日～11月12日 岐阜展（於 ぎふメディアコスモス）  
陳列点数 87点 入場者数 1,847名  
応募者数 30名 応募点数 32点
- ※12月1日～12月5日 福井展（於 福井市美術館）  
陳列点数 69点 入場者数 500名
- ※2022年  
1月19日～1月23日 金沢展（於 石川県立美術館）  
陳列点数 80点 入場者数 714名

(3) 支部展、等 (※印=公募展含む)		
1月12日～1月17日	京都作家展	(於 京都市美術館別館) 陳列点数 39点 入場者数 473名
1月26日～1月31日	愛知支部 三河展	(於 刈谷市美術館) 陳列点数 29点 入場者数 986名
※5月18日～5月23日	熊本支部展	(於 熊本県立美術館分館・ギャラリー) 陳列点数 84点 入場者数 1,111名 応募者数 106名 応募点数 127点
6月1日～6月6日	兵庫支部展	(於 イーグレひめじ) 陳列点数 32点 入場者数 614名
6月1日～6月6日	ひょうごの 作家たち展	(於 サンパルギャラリー) 陳列点数 31点 入場者数 725名
※6月2日～6月7日	和歌山支部 会員展・ 仲間たち展	(於 和歌山県民ギャラリー) 陳列点数 22点 入場者数 800名 応募者数 16名 応募点数 16点
6月30日～7月11日	山形支部展	(於 彩画堂) 陳列点数 25点 入場者数 100名
※7月18日～7月23日	新潟支部展	(於 長岡市美術センター) 陳列点数 54点 入場者数 750名 応募者数 15名 応募点数 17点
※7月28日～8月1日	青森展	(於 青森市民美術展示館) 陳列点数 82点 入場者数 476名 応募者数 8名 応募点数 12点
7月29日～8月3日	石川県支部 小品展	(於 ギャラリーノア) 陳列点数 22点 入場者数 50名
8月25日～8月29日	長野県支部展	(於 上田市美術館) コロナ禍で中止
※11月9日～11月14日	久留米 西部示現会展	(於 久留米市美術館館) 陳列点数 100点 入場者数 1,142名 応募者数 20名 応募点数 27点
11月9日～11月14日	京都小品展	(於 京都府立文化芸術会館) 陳列点数 36点 入場者数 698名
11月16日～11月21日	福岡支部 小品展	(於 ギャラリーSEL) 陳列点数 32点 入場者数 342名
※11月23日～11月28日	愛知支部展	(於 名古屋市民ギャラリー栄) 陳列点数 39点 入場者数 679名 応募者数 13名 応募点数 13点
11月24日～11月28日	岐阜正会員展	(於 フローレンス21) 陳列点数 40点 入場者数 271名
11月24日～11月29日	和歌山支部展	(於 和歌山県民ギャラリー) 陳列点数 43点 入場者数 450名
12月1日～12月5日	福井 若越美術展	(於 福井市美術館) 陳列点数 20点 入場者数 500名 応募者数 19名 応募点数 20点

※2022年 徳島支部展・ (於 あわぎんプラザギャラリー)  
2月10日～2月15日 交流展 陳列点数 40点 入場者数  
応募者数 26名 応募点数 26点  
新型コロナ禍、直前で中止

## 2. 研究会の開催状況

### (1) 研究会

#### 【本部 作品研究会 (公益事業)】

- ・1月17日 リモート研究会にて講師陣の講評 参加者46名
- ・2月14日 リモート研究会にて講師陣の講評 参加者116名
- ・6月6日 リモート研究会にて講師陣の講評 参加者69名
- ・7月18日 リモート研究会にて講師陣の講評 参加者68名
- ・7月21日～25日 夏季講習会 新型コロナ禍のため中止
- ・8月15日 リモート研究会にて講師陣の講評 参加者64名
- ・9月19日 リモート研究会にて講師陣の講評 参加者117名

#### 【本部 特別作品研究会 (公益事業)】

- ・9月27日 示現会会館開放にて講師陣の特別講習  
新型コロナ禍のため中止
- ・9月28日 示現会会館開放にて講師陣の特別講習  
新型コロナ禍のため中止
- ・10月2日 示現会会館開放にて講師陣の特別講習  
新型コロナ禍のため中止

#### 【各支部活動 作品研究会】

- 《青森支部》 1月下旬 リモート作品研究会 参加者12名  
2月下旬 リモート作品研究会 参加者12名
- 《山形支部》 2月11日 作品研究会 新型コロナ禍のため中止  
2月27日 作品研究会 参加者20名  
8月8日 作品研究会 参加者16名
- 《新潟県支部》 1月31日 作品研究会 参加者32名  
2月28日 作品研究会 参加者28名  
7月4日 作品研究会 新型コロナ禍のため中止
- 《長野県支部》 3月初旬 作品研究会 新型コロナ禍のため中止
- 《福井支部》 2月20日・21日 作品研究会 新型コロナ禍のため中止  
毎月第1土曜 (鯖江)、第1・第3日曜 (若狭)
- 《岐阜支部》 2月20日 作品研究会 参加者30名
- 《愛知支部》 1月24日 作品研究会 参加者25名  
2月27日 作品研究会 参加者36名
- 《京都支部》 6月19日 作品研究会 参加者30名  
12月5日 作品研究会 参加者31名
- 《兵庫支部》 1月30日・31日 作品研究会 新型コロナ禍のため中止  
2月28日 作品研究会 新型コロナ禍のため中止  
9月4日・5日 作品研究会 新型コロナ禍のため中止
- 《和歌山支部》 2月28日 作品研究会 参加者13名
- 《徳島支部》 1月10日 作品研究会 参加者13名
- 《福岡支部》 2月7日 作品研究会 (福岡) 参加者18名  
2月23日 作品研究会 (福岡) 参加者20名  
2月28日 作品研究会 (北九州) 参加者12名  
7月11日 作品研究会 (福岡) 参加者24名

	11月27日	作品研究会	(北九州) 参加者18名
《久留米支部》	2月8日	作品研究会	新型コロナ禍のため中止
	2月28日	作品研究会	参加者50名
	9月19日	作品研究会	新型コロナ禍のため中止
《熊本支部》	10月17日	作品研究会	参加者50名
	2月7日	作品研究会	参加者21名
	7月17日・18日	作品研究会	参加者20名
	10月10日	作品研究会	参加者15名
	12月12日	作品研究会	参加者24名

## (2) 風景・人物写生研修会

【本部】5月 春季写生研修会 新型コロナ禍のため中止

【各支部】本部同様、各支部において実施。

《青森支部》	10月24日	写生会	奥入瀬溪流 参加者3名
《山形支部》	11月1日	写生会	村山市 参加者15名
《新潟県支部》	6月6日・7日	写生会	寺泊 新型コロナ禍のため中止
《長野県支部》	6月中旬	写生会	新型コロナ禍のため中止
《石川県支部》	4月11日	写生会	小松市木場潟公園 参加者6名
《福井支部》	10月3日	写生会	越前海岸 参加者4名
《岐阜支部》	10月30日	写生会	郡上八幡 参加者15名
《愛知支部》	10月24日・25日	写生会	三重県相差 コロナ禍のため中止
《兵庫支部》	5月30日	写生会	神戸方面 雨天中止
《徳島支部》	10月	写生会	新型コロナ禍のため中止
《福岡支部》	10月24日	ヌードデッサン会	参加者9名
	11月28日	ヌードデッサン会	参加者11名
《久留米支部》	11月21日	写生会	菊池溪谷 参加者14名
《熊本支部》	11月7日	写生会	南阿蘇 参加者15名

## 3. 新人育成のための研究所の運営状況

絵画の基礎的な力の養成を目標に、一般に開放するアトリエです。

また専門家を志す方、趣味として生活にうるおいを深めようとする方々にも、自由かつ真剣に楽しく研究できる施設として提供している。

人体写生(裸婦・着衣) 油彩、水彩、静物、風景 大型作品制作	午前の部10:00~12:30 午後の部13:30~15:30
--------------------------------------	------------------------------------

## 4. 美術に関する研究及び調査

- (1) 冬季・夏季・秋季・春季 各作品研究会を通しての絵画表現研究  
作者の制作意図に基づき作品の講評、指導を実施
- (2) 春季(写生旅行会)・夏季 研究会(夏期講習会)により野外・人物写生による表現の研究 新型コロナ禍の為中止
- (3) 巡回展指導、支援  
巡回展時における本部より役員を派遣し出品作品について講評会、陳列指導等を実施  
各支部においても更に幹部を中心に各種研究会 新型コロナ禍の為中止箇所あり

- (4) 会誌掲載文による指導、研究
  - ・理事長 巻頭言・作品
  - ・第74回示現会展覧会を終えて
  - ・新型コロナ対策について・特別委員会活動
  - ・役員作品・役員寄稿
  - ・コロナ対応
  - ・「事務局だより」発行
  - ・リモート研究会開催
  - ・各係・研究所・支部だより
  - ・奨励展開催
  - ・受賞者・昇格者・新会員・新準会員・新会友・初入選者
  - ・新設賞
  - ・日展入選者
  - ・追悼文
  - ・係より連絡、報告類
  - ・研究所案内

## 5. 会誌及び美術に関する図書等の発行

- ① 会誌(2021年12月発行) B5版 42ページを下記の要領で実施  
発行部数:1,250部  
配付先:正会員・準会員・会友をはじめ一般出品応募者、過去の出品応募者、研究所生、元会員のご遺族、更には広報活動用として必要に応じて多方面に配付
- ② 事務局だよりの発行 正会員・準会員・会友・一般応募者
- ③ 第74回展画集の発行 正会員・準会員・会友・図書館等

## 6. その他目的を達成するために必要な事業 他

### 総会・理事会・委員会 関連

- (1) 定時会員総会
  - ・2021年3月2日 2020年度事業報告・決算の承認・除名者の承認
  - ・各支部で各々支部総会実施
- (2) 理事会  
理事会
  - ・2月16日 会員総会関連 付議事項並びに報告事項の承認  
事業計画案・予算案の承認・他
  - ・3月23日 展覧会審査鑑別関連
  - ・3月25日 展覧会 賞・昇格関連
  - ・3月31日 理事会 巡回展関連
  - ・11月5日 従前の委員会を新型コロナウイルス感染対策として三密を避けるため  
臨時理事会と位置づけ開催 75周年記念展関連のあり方承認
- (3) ホームページ更新により下記事項を実施
  - ・事務所・支部・会員一覧
  - ・示現会史
  - ・展覧会・作品研究会・年間予定
  - ・絵画研究所
  - ・事業報告・トピックス等の活動案内と各種情報適時開示
- (4) 会員名簿発行 2021年5月

**決議事項**

**第1号議案** 2021年度（自2021年1月1日 至2021年12月31日）  
貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）承認  
を求める件

議長は、2021年度における貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）を提出し詳細に説明された。

また、次いで、監事 大瀧弘子より、2月15日に監査を実施しその結果、重大な瑕疵とは認められなかったのでこれらの書類を綿密に調査したところ、いずれも正確かつ適正であることを認めた旨報告がなされた。会員総会は別段の異議なくこれを承認された。

【上記資料は、7ページ以降に添付しています】

**第2号議案** 理事13名選任の件

議長は、本会の終結をもって理事全員任期満了となるので、その改選について一同に諮ったところ、満場一致をもって次の者を選任した。

成田禎介、鈴木 實、井上 武、中川澄子、佐藤祐治、錦織重治、  
武 敏夫、大瀧繁樹、石橋俊博、土田恒夫、渡邊良一、徳田則子、  
小材啓治

【被選任者は、総会后、各々就任を承諾しました。】

**第3号議案** 監事2名選任について

議長は、本会の終結をもって監事全員任期満了となるので、その改選について一同に諮ったところ、満場一致をもって次の者を選任した。

大瀧弘子、三杉和子

【被選任者は、総会后、各々就任を承諾しました。】

**第4号議案** 除名者承認の件

定款の条項に該当する者

議長は、当該者からの弁明の状況を受け今回は該当者なしにて説明がありここにおいて、社員総会は、別段の異議なくこれを承認した。

以上をもって議事のすべてが終了したので、議長は閉会を宣した。

一般社団法人 示 現 会  
理事長 成田禎介 殿

一般社団法人 示 現 会

監事 大瀧 弘子 ㊟

監事 三杉 和子 ㊟

**監査報告書**

私たち監事は、当法人の令和3年1月1日から令和3年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議等に出席し、執行状況について報告を受け必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について監査いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書））について監査いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

令和3年度 貸借対照表

令和3年12月31日現在

一般社団法人 示現会

(単位：円)

科 目	当 期 末	前 期 末	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	76,290,945	79,132,283	△ 2,841,338
本部現金預金	53,139,488	56,218,628	△ 3,079,140
研究所現金預金	641,668	627,796	13,872
支部現金預金	22,509,789	22,285,859	223,930
未収会費	1,620,000	1,475,000	145,000
未収金	93,500	36,000	57,500
前払金	914,420	1,327,935	△ 413,515
仮払金	81,940	0	81,940
棚卸資産	2,089,456	208,304	1,881,152
流動資産合計	81,090,261	82,179,522	△ 1,089,261
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2)特定資産			
減価償却引当資産	8,530,294	8,529,891	403
特定資産合計	8,530,294	8,529,891	403
(3)その他固定資産			
土地	127,920,000	127,920,000	0
建物	16,614,159	17,474,293	△ 860,134
什器備品	749,634	942,193	△ 192,559
電話加入権	0	108,000	△ 108,000
その他固定資産合計	145,283,793	146,444,486	△ 1,160,693
固定資産合計	163,814,087	164,974,377	△ 1,160,290
<b>資産合計</b>	<b>244,904,348</b>	<b>247,153,899</b>	<b>△ 2,249,551</b>
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	498,149	337,464	160,685
前受金	518,500	33,000	485,500
前受会費	60,000	124,000	△ 64,000
預り金	322,658	411,913	△ 89,255
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	370,900	286,700	84,200
流動負債合計	1,840,207	1,263,077	577,130
<b>負債合計</b>	<b>1,840,207</b>	<b>1,263,077</b>	<b>577,130</b>
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	243,064,141	245,890,822	△ 2,826,681
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(8,530,294)	(8,529,891)	△ 403
<b>正味財産合計</b>	<b>243,064,141</b>	<b>245,890,822</b>	<b>△ 2,826,681</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>244,904,348</b>	<b>247,153,899</b>	<b>△ 2,249,551</b>

令和3年度 正味財産増減計算書

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

一般社団法人 示現会

(単位：円)

科 目	本 部	研 究 所	支 部	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
入会金収入	7,290,000	0	20,000	7,310,000
会費収入	32,050,000	0	6,117,500	38,167,500
事業収益	5,237,300	1,732,000	7,132,700	14,102,000
受取寄附金	0	0	395,600	395,600
受取利息	706	4	174	884
雑収益	10,000	0	234,097	244,097
<b>経常収益計</b>	<b>44,588,006</b>	<b>1,732,004</b>	<b>13,900,071</b>	<b>60,220,081</b>
(2)経常費用				
事業費	24,052,121	1,663,219	15,887,356	41,602,696
管理費	19,483,484	87,413	1,873,169	21,444,066
<b>経常費用計</b>	<b>43,535,605</b>	<b>1,750,632</b>	<b>17,760,525</b>	<b>63,046,762</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>1,052,401</b>	<b>△ 18,628</b>	<b>△ 3,860,454</b>	<b>△ 2,826,681</b>
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>1,052,401</b>	<b>△ 18,628</b>	<b>△ 3,860,454</b>	<b>△ 2,826,681</b>
一般正味財産期首残高				245,890,822
一般正味財産期末残高				243,064,141
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				243,064,141

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定額法

②無形固定資産

定額法

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
減価償却引当預金	8,529,891	403	0	8,530,294
小計	8,529,891	403	0	8,530,294
合計	18,529,891	403	0	18,530,294

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
基本財産	10,000,000		(10,000,000)	
小計	10,000,000	0	(10,000,000)	0
特定資産				
減価償却引当預金	8,530,294		(8,530,294)	
小計	8,530,294	0	(8,530,294)	0
合計	18,530,294	0	(18,530,294)	0

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	24,458,634	7,844,475	16,614,159
什器備品	1,153,058	403,424	749,634
合計	25,611,692	8,247,899	17,363,793